

2015 Autumn

Vol.

85

PATIO



JIYUGAOKA SANNOKO COLLEGE Alumni Association

母校自由が丘キャンパスにて 「第20回」 記念の校友大会を開催

平成27年6月20日（土）、自由が丘の本学キャンパスにおいて第20回校友大会が開催されました。平成7年に第1回校友大会が母校でおこなわれてから本学での開催は今回で10回目。第3回高松大会を皮切りに地方での10回の校友大会と合わせて節目の20回目の校友大会となります。

☆式典☆

会長、理事長より「校友大会」についてのお話

13:00よりフリーアナウンサーの児玉美保さん（産業能率大学経営情報学部平成15年卒業）の司会進行、吉岡功雄大会実行委員長の開会宣言で式典の幕が切っておろされ、学校法人産業能率大学上野俊一理事長、自由が丘産能短期大学浦野哲夫学長をはじめ五月女芳男理事、小林武夫理事、風戸修子学科長、校友会顧問・相談役各位のご来賓ご紹介に続き、参加者全員で校歌を斉唱いたしました。



次に平石俊夫会長より会長挨拶及び会務報告が行われ、2014年度の事業報告ならびに収支決算、2015年度事業計画ならびに収支予算について説明がなされました。この2年間に平石会長は積極的に各支部をまわり、校友会の実態を



つぶさに観察するとともに、独特な施策が実行に移されました。母校の発展に貢献することと、校友会員の交流と研鑽を図ることが校友会の目的ですが、平石会長はご挨拶の中で、「校友大会は出会うことにある」とまさにこの2年の間多くの校友と交わった思いを伝えられるとともに、校歌を歌うことにより「元気・やる気」が出てくるとの思いを語られました。最後に歴代会長への感謝を述べるとともに、これからの2年を踏まえ、さらに新たな改革を進める決意を感じるスピーチでした。

続きまして学校法人産業能率大学上野俊一理事長よりご挨拶をいただきました。上野理事長からは現在の学校の状況につきご説明をいただくとともに、20回の校友大会を継続する校友会の結束力についてお褒めをいただきました。そのなかで「今回は司会や出演者が大学の卒業生であったり、短大卒業生かつ大学の講師であったりすることなどから短大と大学がコラボした校友大会である」との感想をお話しされ、将来的な校友会の道筋についても我々が考えていかねばならないと感じた次第です。来年の校友大会は東北の各支部が力を合わせ、結束して開催することについて期待を述べられ、担当支部の参加者も一層力が湧きあがる思いをされたのではないかと思います。

9名が本年度の功労賞を受賞 優良支部は茨城支部

本年度も式典の最後に功労者表彰と優良支部の表彰が行われました。功労者には、副支部長として福島支部を15年にわたりけん引し、記念誌作成や積極的な活動への参加を認められた菅野好之さん（通信教育課程昭和44年卒業・現福島支部副支部長）、同じく福島支部において11年間にわたり会計業務を担当し、円滑な支部運営を支えた箭内照代さん（通信教育課程昭和58年卒業・現福島支部会計担当）、群馬支部長として10年にわたり支部活動をけん引してきた福島好夫さん（通信教育課程昭和46年卒業・元群馬支部長）、群馬支部事務局長として定期総会の運営や各種会合の開催、近隣支部との積極的な交流が認められた関口正浩さん（通信教育課程平成元年卒業・現群馬支部事務局長）、神奈川支部設立時より幹事を務め、支部長就任後は「進化」を合言葉に新たな発想で支部運営を推進してきた山岸貞夫さん（第Ⅱ部昭和44年卒業・現神奈川支部長）、本部副会長や神奈川支部でのレディース会の立ち上げなど積極的な活動で校友会をけん引してきた加藤麗子さん（第Ⅰ部昭和45年卒業・現神奈川支部事務局長）、神奈川支部で12年にわたり幹事や監事を歴任し、支部活動を中心的に支え続けた小林清子さん（通信教育課程平成3年卒業・前神奈川支部幹事）、平成22年より6年間新潟支部の支部長として活躍し、そのたぐいまれなリーダーシップにより第15回校友大会を大成功に導いた松井進一さん（通信教育課程昭和59年卒業・現新潟支部特別幹事）、新潟支部設立当時より支部活動に参加し、約30年にわたり会計担当者として尽力され、近隣支部との交流にも積極的に参加された長谷川三喜さん（通信教育課程昭和57年卒業・現新潟支部会計担当）の9名が功労賞を受賞されました。



また、優良支部表彰は創立30周年のイベントとして昨年の第19回校友大会を成功に導き、その後も支部活動を積極的に展開している茨城支部が表彰されました。



最後に吉岡功雄大会実行委員長の閉会宣言で式典は無事終了いたしました。

☆講演会☆

式典に続き13:45からは木幡昭先生（自由が丘産能短期大学准教授）による講演会が開催されました。



☆懇親会☆

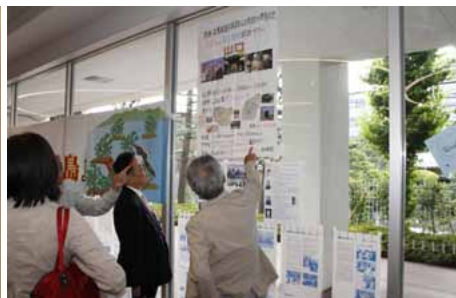
生まれ変わったIVYホールにて、交流のとき

15:30からは会場をIVYホールに移し、吉岡功雄大会実行委員長の挨拶を皮切りに懇親会が開催されました。

昨年新装した本学IVYホールは、以前よりも格段に使いやすく、また、音響が良くなっただけでなくTVモニターによって舞台をどこにいてもみられるという素晴らしい環境となっています。



自由が丘産能短期大学浦野哲夫学長より、今後の短大の方向性や校友会に対する力強いお言葉を頂戴いたしました。続いて自由が丘産能短期大学風戸修子学科長から乾杯のご発声を頂戴し、懇親会はスタートいたしました。



乾杯後は各自料理と飲み物のグラスを片手に、懐かしい校友との再会と歓談に酔いしれておりました。また、校友大会20年の歴史をパネルにした展示や例年通り各支部の状況を説明した掲示を見に行ったり、校友会の兵道理事が中心となり岩手、宮城、秋田、山形、福島、新潟の銘酒や山形のワインを提供するバーカウ



ンターにはたくさんの人だけかりができたり、参加記念抽選コーナーでは結果に一喜一憂したりと、ホール内はこぼれんばかりの笑顔と笑い声に包まれていました。

大迫力のパフォーマンスが魅了

懇親会の半ばに差し掛かり、ダンスパフォーマンスグループのBLUE MOON BOOがステージに登場しました。そのパワフルかつ妖艶な魅力で会場の注目は一点に絞られていきました。日頃決して目にしない華やかなステージにメロメロになる紳士たち。また、若い時代にリーダーのAsamiのボーカルとダンスに魅了された年代にとっては懐かしく、かつ新鮮な思を受けけるステージとなったのではないのでしょうか。圧巻のステージに参加者たちはほとんどん惹き付けられ、ここが学校のカフェテリアであることを忘れてしまったかのようでした。しかし、ステージが終了しメンバーのRyocoこと星野良子さんが短大I部の卒業生であり、現在は大学経営学部でダンスの授業を担当されていることや、そのしっかりとした受け答えにますます驚かされた観衆一同でした。



楽しい時間はあっという間に過ぎ去り、来年の校友大会開催地の東北各支部からのご挨拶、吉岡大会実行委員長の中締め挨拶をもちましてお開きとなりました。

最後に、今回の校友大会は準備並びに片付け作業などにおいて学校関係者に過大なご負担をお掛けいたしましたことを大いに反省するとともに、大きな感謝を持って次年度以降の改善点としてまいりたいと存じます。また、各理事並びに多くの校友会員の皆様にご協力をいただき感謝いたします。

(文責／校友会副会長 馬場和彦)



東京湾を優雅にクルーズ

平成27年6月21日（日）前日の校友大会に続いて
東京湾ランチクルーズツアーが行われました

本学において第20回校友大会が開催された翌日、お昼前の竹芝栈橋に37名の校友会員が集まりました。毎年のことながら校友大会の時期は天候が不安定で、去年の筑波山ツアー同様、時おり雨のあいにくの空模様となりました。

ランチクルーズの前には高橋理事主催で近隣の史跡を巡るミニツアーも開催され、19名の参加がございました。うち17名が歴史散歩の後、そのままクルーズへと参加されました。

今回乗船いたしました芝浦ふ頭は、伊豆諸島への船の玄関口として今でも多くの客船が発着している港です。父島へ就航のおがさわら丸をはじめ、多くの島へお客様や荷物を運んでいます。東京湾の周遊船や隅田川を往復する水上バスの発着が多く、休日はどちらかというと近郊の家族連れなどが多いのですが、日常の生活や長旅の風情も漂う港です。

私たちが乗船した東京湾クルーズレストランシップ「ヴァンティアン号」は総トン数1,717t、全長64.83m、航海速力10ノット、旅客定員700名を誇るクルーズ船です。ランチタイムクルーズでは今回利用したビュッフェスタイル以外にも、本格的なコースメニューなど、さまざまなプランを楽しめるようです。

12:00に出航し、ウェルカムドリンクを飲みながらまずはビュッフェでお腹を満たします。お台場や大井のコンテナふ頭を眺めながら各テーブルでは歓談が続きます。そして、誕生日のサプライズもあり参加者全員でハッピーバースデーの大合唱を送る場面も。周遊コースは竹芝栈橋を出発して羽田空港沖でUターンするコースでしたが、羽田空港沖では間近に航空機の発着が見え、みなさん子供のように一生懸命写真に収めていました。

羽田沖で折り返しをする頃には雨も上がっていましたので、船上デッキに上り、お台場の風景を眺めながらの記念撮影タイム。南極観測船の「しらせ」やフジテレビの社屋など多くの建物の手前には江戸の名残を感じさせるお台場や砂浜の風景が広がり、近世と現代、自然がミックスした不思議な感覚に包まれます。



(晴れた日に撮影)

レインボーブリッジをくぐると前方には東京タワーやスカイツリーなども眺められます。到着前にはパーティールームに戻り、コーヒーを飲みながらフルーツやケーキに舌鼓を打ちながら、楽しかった校友大会の思い出に浸ります。

約2時間の東京湾クルーズを終え、船は竹芝栈橋に戻ってまいりました。いろいろと不手際もございましたが、参加いただいた皆様に感謝いたしますとともに、楽しかった2日間の思い出を抱え、またの再会を誓い合う姿を垣間見て安堵した次第です。

終日、思わしくない天気となりましたが、事故もなく無事にツアーを終えることが出来たのも、ご協力いただいた皆様のおかげと感謝しております。

(文責／校友会副会長 馬場和彦)



支部だより

◆群馬支部総会と平成27年度活動計画

群馬支部

平成27年5月17日（日）に群馬支部総会が、平石校友会会長をはじめ吉岡校友大会部会責任者、中嶋埼玉支部長、元井新潟支部長、橋本茨城支部事務局長、柿沼東京支部事務局長、鈴木千葉支部役員の方々をお迎えし、開催されました。10年ぶりに役員の変更が行われ、10年間群馬支部長を務められた福島好夫氏が退任し相談役へ。新支部長には小山正彦副支部長が就任することが承認されました。副支部長、会計監査も代わり新しい体制で出発することとなりました。



その後の講演会では、富岡市世界遺産まちづくり部 富岡製糸場課の結城正則課長補佐をお招きし「なぜ富岡製糸場は富岡市に建設したのか？」と題したテーマで講演を行っていただきました。同講演では、歴史、ブリューナ氏、女工さんたちのことなど、大変貴重な講演をしていただきました。

また、平成27年度の活動計画では、7月25日（土）に「納涼会」を高崎駅西口の「柚柚」（1日3組限定コース）で、参加者7名のうち新規参加者1名で実施しました。



10月18日（日）には「わたらせ渓谷鉄道沿線散策」を実施予定です。集合時間は高崎駅改札に7時30分、桐生駅に近い方は桐生駅に9時00分。なお、参加希望（家族同伴・友達可）の方は、わたらせ渓谷鉄道沿線散策の締切が9月15日（火）校友会群馬支部事務局必着ですので、お早めにお申し込みください。鉄道運賃は2500円くらい、他各施設の入場料などが必要です。参加者には後日詳細を送ります。

（群馬支部事務局長 関口正浩）

問合先：〒370-2603 群馬県・下仁田町馬山5768-1
校友会群馬支部事務局 関口正浩 090-4012-6309（メール可）

◆今年度のイベント開催報告

茨城支部

茨城支部では、今年の4月から7月の間に3つのイベントを行いましたので報告いたします。

1つ目は、4月に実施しました【支部総会】です。4月12日（日）、水戸市国際交流センターにて支部総会を行いました。平石校友会会長をはじめ、近隣の東京支部、埼玉支部、千葉支部、群馬支部から6名の来賓をお迎えし、支部会員15名と合わせて21名の参加がありました。2014年度の事業報告、会計報告、2015年度の事業計画、予算計画を報告しました。また、フリーディスカッションでは参加いただいた他支部の皆さんに茨城支部の活動について意見を聞くなどして、活動の充実を図る決意をしました。その後、近くのレストラン・リパティアーヌに席を移し懇親会を行い、近況報告などの話題で盛り上がりました。

2つ目は、【校友大会】への参加です。毎年、できるだけ多くの会員で校友大会を盛り上げようという方針で参加しています。今年の校友大会は6月20日（土）に自由が丘キャンパスにて開催され、茨城支部からは6名が参加しました。トピックスとして、茨城支部が優良支部として表彰されました。

最後に、7月20日に実施しました【見学会】です。今回は笠間市の「筑波海軍航空隊記念館」を見学しました。今年4月に卒業された2名をお迎えし、合計15名で見学しました。同施設は、戦争遺構として事実を記憶していこうという目的で記念館として残されました。案内していただいたスタッフは、とても若いボランティアの方でしたが、熱のこもった説明に時間を忘れて聞き入ってしまいました。この施設は、戦後、病院として使われていましたが老朽化により取り壊しが決まっていました。しかし、映画「永遠の0」の撮影地としても使われ、遺構として残すべきと働いた方々がいました。当日は、その中心人物である茨城県庁の橘川氏も駆けつけていただき、ご挨拶をいただきました。

8月以降も、お茶会（9/6つくば、9/27水戸）、一泊見学会（11/28・29潮来、佐原）、オープンセミナー（日程未定）、新春講演会（28年1月）など計画しています。予定が合う卒業生は、ぜひ参加して支部活動を体感してください。



（茨城支部事務局長 橋本琢磨）

◆長野支部定期総会兼大学通教校友会との交流会 東信地区・諏訪地区・中信地区総会 開催報告

長野支部

平成27年5月9日（土）～10日（日）支部定期総会・交流会を長野支部北信地区及び大学通教校友会と合同で長野市において短大大学合わせて20名の参加で開催しました。

数えて七年に一度開催される信州善光寺御開帳に併せたもので、9日午後、長野県信濃美術館で開催中の“いのりのかたち”と題された信濃の仏像と長野県茅野市で発掘された国宝土偶「仮面の女神」「縄文のビーナス」2体を鑑賞し、善光寺において前立本尊とつながる回向柱に触れ「現当二世安楽」などを祈り、極楽往生が約束されると言われている「御印文」を頂戴しました。ホテル信濃路では長野支部北信地区定期総会に引き続いて、短大校友会長野支部の定期総会を開催しました。懇親会冒頭、大学通教校友会長野支部の副支部長から活動説明があり、楽しく親睦を深めました。

10日は早朝にホテルを出発し善光寺でお数珠を頂戴し、お朝事を見学しました。朝食後、真田十万石の町、長野市松代町で真田宝物館、真田邸、文武学校、松代城址を松代文化財ボランティアの会のガイドにより見学し、昼食後解散しました。善光寺の信仰の深さと松代における明治まで続いた真田家の歴史を知ることができました。

5月24日（日）諏訪地区定期総会を岡谷市イルプラザにて14名の参加で開催しました。ステージ1は、料理教室＆ランチパーティー。会員の小池すみ子を先生にした料理教室は11年目を迎えました。“楽しく作って、楽しく食べよう”をテーマにした料理教室で、「いつもの簡単健康ヘルシーメニュー」を作って、おいしくいただきました。ステージ2は、諏訪地区総会を開催しました。ステージ3は、講演会テーマ「あなたの人生を豊かにする筆跡」の話講師、筆跡カウンセラー柳澤盛樹氏（短大長野支部東信地区代表）から、文字で明らかになる性格や行動特徴の関係についての講演が行われました。講演会については、地元新聞へ開催予定記事を投稿し、外部から8名の参加がありました。

6月6日（土）東信地区総会を8名の参加で開催しました。来年放映されるNHK大河ドラマ「真田丸」に先駆け、真田氏縁の上田市真田地区を訪れました。まず観光センター「ゆきむら工房」にて蕎麦打ち体験と、打ちたての蕎麦で昼食および総会を行い、その後は信綱寺、長谷寺、真田資料館、真田氏館跡、真田氏歴史館などを巡り、最後はふれあい真田館の温泉で汗を流してお開きとなりました。時期的には真田氏館後のツツジの開花に合わせて計画しましたが、今年は5月に暑い日が続き、すでにツツジが終わってしまっていたのは残念でした。また、諏訪地区から4名

の方に参加していただき、蕎麦打ちにかけてはベテランの皆さんに、いつもとは若干違う東信地区の蕎麦打ちを楽しんでいただきました。

7月4日(土)松本地区定期総会を大学通教校友会長野支部定期総会と合同で松本市において21名の参加で開催しました。松本地区定期総会、大学通教校友会長野支部定期総会、イベントとしては「松本城の歴史」について松本市文書館特別専門員小松芳郎先生をお招きし講演会を開催。講演では、松本城の築城、歴代の城主の変遷、松本藩に属した村々、幕府領に属した筑摩郡、明治初期松本城を取り壊してから守った市川量造、明治大正の大修理を行った小林有也松本中学校長、そして昭和11年4月20日国宝に指定され現在計画されているお堀の一部復元計画についてお話ししていただきました。引き続き、短大・大学合同での懇親会を行いました。

注)長野支部では、会員が行事に参加しやすいよう県内を6地区に分け各地区ごとに行事を行っています。また、長野県全体としての長野支部定期総会も開催したり、大学通教校友会長野支部との合同行事を行ったりしています。

(長野支部事務局長 湯本次雄)

◆平成27年度 静岡支部総会のお知らせ

**静岡
支部**

県内在住の校友会員はもとより、他支部の方も世界遺産の富士山・三保の松原や、本年、新たに登録された伊豆の韮山反射炉などの見学で来静時には、お顔出してください。

日 時 平成27年11月23日(月・祝日)

13:30 ~ 17:00

会 場 クーポール会館

(静岡市紺屋町2-2

TEL:054-254-0251)

受 付 13:00 ~

総 会 13:30 ~ 14:00

講演会 14:00 ~ 15:00

講 師 池端小夜子

(生活の木 新静岡セノバ校講師)

A E A J 認定 アロマイストラクター

A E A J 認定 アロマセラピスト

演 題 「生活の中の香り(アロマ)と健康」

懇親会 15:10 ~ 17:00

懇親会費 5,000円

問合せ先 静岡支部事務局 田中隆徳

〒419-0202 富士市久沢1456-3

TEL・FAX 0545-71-5449

メール jf2uaq@uv.tnc.ne.jp

(静岡支部事務局長 田中隆徳)

支部への扉をノックしてみませんか?

【全国28支部】

北海道・岩手・宮城・秋田・山形・福島・茨城・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟・富山・山梨・長野・
中京(愛知・岐阜・三重)・静岡・関西(滋賀・京都・奈良・和歌山・大阪・兵庫)・山陰(鳥取・島根)・岡山・
広島・山口・四国(香川・徳島・愛媛・高知)・福岡佐賀(福岡・佐賀)・長崎・大分・鹿児島

それぞれの支部の連絡担当者については、校友会本部事務局までメールまたはファックスにてお問い合わせください。

(メール: sanno-koyu@joy.ocn.ne.jp ファックス: 03-3704-9539)

各支部の活動は、自由が丘産能短期大学校友会ホームページでも迅速に紹介しています。ぜひご覧ください。

千葉支部

◆第13回千葉支部定期総会を開催

平成27年5月9日(土)にホテル「プラザ菜の花」にて第13回千葉支部定期総会を開催しました。当日は近隣支部の皆様をはじめ、遠路はるばる宮城支部より太田支部長にもご出席いただき、途中退席された会員も含め24名の出席でおこなわれました。

議案審議終了後は、宮城支部の荒木次男事務局長に「3.11震災と産能との絆」をテーマに、仕事、好きな日本酒、そして産能と人のつながりなど多岐にわたる内容をうかがいました。懇親会では乾杯の後にお互いの近況や産能の思い出話などを語り合い、親睦を深めました。

最後に会員の皆様へ。役員の間ではいつも来られる方が欠席されたり、総会出欠の返信がないと元気でられるか心配になります。出席はともかく是非ご連絡をお願いします。



次回交流会
平成27年10月25日(日) 船橋にて
南極観測船「しらせ」見学&懇親会(サッポロビール)

(千葉支部幹事 長野政之)

宮城支部

＊ ＊ ＊ 校友の皆様へ ＊ ＊ ＊ 2016年校友大会 in 日本三景「松島」 に参加しませんか？ ＊ ＊ ＊

来年は宮城支部におきまして、第21回全国校友大会を、下記の通り開催致します。参加ご希望の方は、ぜひ校友の皆様にお声がけされて、お誘い合わせの上、スケジュール調整をお願いいたします。来年は、日本三景で有名な『松島』にて、皆様をお待ちしております。

宮城支部一同

開催日	2016年6月11日(土)～12日(日)
会場	日本三景「松島」 「ホテル 松島 大観荘」 代議委員会・校友大会・懇親会・松島探訪 etc (参加費は検討中です。後日お知らせ致します。)
場所	宮城県宮城郡松島町松島字犬田 10-76
見所	湾内遊覧で 日本三景「松島」を満喫
宿泊	各自、申込みとなります。(観光ホテルなので、旅行代理店を通して、グループで申し込むのがベストです。)
連絡先	宮城支部事務局 荒木次男 Eメール: t-araki 7 @ mvg.biglobe.ne.jp



卓球部OG・OB会開催!

6月20日(土)、校友大会と同日に卓球部OG・OB会が3年連続で開催となりました。幸いの快晴のもと、自由が丘駅前広場の女神像前に集合後、キャンパスまでの道のりを散策。昔利用した喫茶店など昔話に花を咲かせ20分程度で到着したところ、キャンパスはすでに校友大会の参加者で賑わっていました。

昔からの建物は研究所ビル(現3号館)の1棟だけですが、付近の豪邸などは変わらぬ面影を残しています。学生時代を思い返すと、当時から自由が丘駅周辺も含め素晴らしい環境でした。キャンパスで1時間程度を過ごし、駅から来た道とは別ルートの

発案で九品仏に近いルートを歩き、駅付近では昔からあったような喫茶店を発見。アイスコーヒーを注文すると、店のマスターは温かな表情で「美味しい自慢のウイスキーがあるので、飲みませんか?もし美味しくなければ料金は要らないです」と一言。すぐ側にいた仲間が間髪入れずに「お願いします」と料金を確認することなく注文しました。感激するほどの味とまでは言い切れなかったですが、とても口当たりの良い味で料金も格安でした。皆様も一度いかがですか?自由が丘2丁目「コーヒーパブ六文銭」です。



その後、千葉から来てくれたOGが帰宅すること、女神像前でお別れ、校友大会に出席していた麻生先輩と合流し自由が丘南口のイタリアンレストラン「カプラ・チッチョ」の個室宴会場に移動しました。会場では偶然にも上野理事長と宮内学長にお会いすることができ全員、大喜び。集合写真もバッチリ。このレストランをご選択いただいた幹事の皆さんへ感謝の大拍手が送られました。ビールやワインを飲みながら街の変貌や昔話、近況発表会のような会話や学生時代の自慢話も飛び交い、アツと言う間の2時間30分でした。

卓球部は昭和46年3名の男子により創部、部員数は平成5年卒業生までの男女合わせて約150名。関東学生リーグや下記の全国私立短期大学の体育大会等参戦いたしました。卓球部以外の好成績も含めご紹介いたします。第1回昭和41年東京都駒沢競技場から第16回・昭和56年東京都までのメダル獲得成績一覧(記録はすべて男子部門)です。

昭和45年	バスケット	3位	昭和53年	バレーボール	優勝
昭和47年	卓球 団体	3位		バスケット	優勝
	卓球 単	3位	バドミントン 団体	3位	
昭和48年	卓球 団体	準優勝	昭和54年	バレーボール	優勝
昭和49年	卓球 複	優勝		バスケット	優勝
昭和51年	卓球 団体	3位		バドミントン 団体	3位
	団体	3位		バドミントン 複	3位
	バドミントン 単	3位	バドミントン 単	3位	
昭和52年	バレーボール	準優勝	昭和55年	卓球 単	優勝
	バドミントン 団体	3位		バスケット	3位
	バドミントン 複	3位			

追伸: この様な資料をお持ちの方は、卓球OB会へご一報ください
(卓球OB会 <http://ttcparty.info>)

校友大会賛助金 ご協力の御礼と感謝を申し上げます

去る6月、自由が丘キャンパスにおいて開催されました第20回校友大会には多くの皆様から賛助金のご協力をいただきました。以下にお名前と賛助金口数を記し、ご協力の御礼と感謝を申し上げます。

氏名（敬称略）	都道府県
6口	
鈴木 信義	神奈川県
二上 光宏	東京都
4口	
扇 道德	長崎県
加古 欣一郎	東京都
早坂 泰雄	埼玉県
2口	
麻生 倫司	山口県
伊藤 蔵巨	神奈川県
小山 正彦	群馬県
鮫島 敏夫	神奈川県
多田 吉宏	東京都
永栄 和子	石川県
平石 俊夫	新潟県
藤原 郷司	大阪府
山下 俊治	千葉県
1口	
阿多 義英	北海道
荒井 誠亮	埼玉県
石橋 貞吉	東京都
稲葉 稔	茨城県
今田 博	香川県

氏名（敬称略）	都道府県
浦田 優理香	富山県
太田 卓男	宮城県
柿沼 英男	東京都
川上 綾子	新潟県
久住 和夫	千葉県
小林 正則	東京都
笹本 強志	長崎県
佐藤 富夫	神奈川県
鈴木 幸四郎	埼玉県
鈴木 照男	東京都
鈴木 壽美	広島県
関 光子	長野県
関根 和雄	埼玉県
先崎 欣一	福島県
高橋 国夫	神奈川県
高畑 光男	富山県
田口 淳子	東京都
田村 博男	鳥取県
辻村 貴恵子	神奈川県
西尾 廣幸	長崎県
西之原 誠	鹿児島県
新田 豊二	兵庫県
薮島 勝巳	埼玉県

氏名（敬称略）	都道府県
萩谷 みどり	茨城県
馬場 和彦	東京都
平田 満穂	長崎県
福島 好夫	群馬県
藤澤 勝彦	岡山県
藤原 寛	長野県
細川 正智	宮城県
細田 正	埼玉県
松井 進一	新潟県
宮武 真照	香川県
森 緑	香川県
山田 敏世	神奈川県
横山 八重子	北海道
和田 憲一	大阪府
和田 広行	神奈川県
藁谷 秀文	茨城県
滑川学生会	富山県

校友会の最新情報は、Webでお知らせしています

自由が丘産能短期大学校友会ホームページ：<http://www.sanno-koyu.jp/>

編集後記

変化 — Patio が電子版で登場—

校友の皆さまにはいつもPATIOをご愛読くださりありがとうございます。PATIOは校友会の目的である「会員相互の研鑽と交流を図る」ため、校友会の情報をお伝えするツールのひとつです。この目的がより効果的に行えるようにこのたび

PATIOを電子版とすることにいたしました。皆さまへの情報発信サービスを減らすことなく、費用だけを抑えたいと考え、年2回発行のまま1回を校友会ホームページの会員専用ページに掲載します。並行して校友会ホームページの掲載内容も充実していく予定です。

ホームページを見ることのできる環境をお持ちの方は、この機会にぜひ登録をお願いします。登録は発送

費用を抑え財務状況を正常化する働きもあります。

時の流れに従って変化して生き残る。「自然の摂理を校友会にも取り入れ、強く逞しい体質にできれば」と願います。

今期広報のメンバーは3人と強化され、積極的に情報を発信したいと考えています。皆さまのご意見・ご要望を心よりお待ちしております。（広報部会責任者・田口淳子）